WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses
(covering the period 1st May to 6th November 2012)

数々の偉業を成し遂げてきた**フランケル【140】**は、生涯最後のレースとなったアスコット競馬場での英チャンピオン S(G1)を制し、無敗の記録を守りきった。

World Thoroughbred Rankings

Leading Horses

click here for complete rankings

Rank	Horse	Rating	Trained
1	Frankel (GB)	140	GB
2	Cirrus Des Aigles (FR)	130	FR
2	Excelebration (IRE)	130	IRE
4	Orfevre (JPN)	127	JPN
4	Wise Dan (USA)	127	USA
6	I'll Have Another (USA)	126	USA
6	Nathaniel (IRE)	126	GB
8	Bodemeister (USA)	125	USA
8	Fort Larned (USA)	125	USA
8	So You Think (NZ)	125	IRE

生涯成績 14 戦 14 勝、これらのレースで合計 76 馬身以上の差をつけてきた**フランケル**は、出遅れながらもこれまで経験したことのない過酷な馬場状態を克服し、**シリュスデゼーグル【130】**に 1 3/4 馬身差をつけ勝利した。さらに 2 着から 2 1/2 馬身差で**ナサニエル【126】**が 3 着となっている。

4 歳となった今シーズン、フランケルは高いレベルのパフォーマンスをコンスタントに発揮し、５戦全てにおいて 130 を超えるレーティングを記録し、前人未到の偉業を成し遂げた。

現在ランキング 2 位タイに並んでいる**シリュスデゼーグル**は、4 月にロンシャン競馬場で行われたガネー賞(G1)を 8 馬身差で快勝したが、10 月上旬のドラール賞(G2) も 9 馬身差で制し、同レベルのパフォーマンスを見せた。

ナサニエルもデビューからこれまでの 11 戦において 4 着以下は 1 回だけと安定感のあるパフォーマンスを見せ、今シーズンの 4 戦全てにおいて 126 ポンドの評価を得た。偶然にも、**ナサニエル**と**フランケル**はニューマーケット競馬場で行われた

同じ競走でデビューし、そこでは**ナサニエル**は**フランケル**に 1/2 馬身差で敗れているが、**フランケル**相手にこれほどの僅差に詰め寄った馬はその後出現しなかった。

エクセレブレイション【130】は、アスコット競馬場で行われたクイーンエリザベスⅡ世 S(G1)で**シティスケープ【123】**に 3 馬身差で勝利し、**シリュスデゼーグル**と並びランキング 2 位タイとなっている。**エクセレブレイション**は、8 月にドーヴィル競馬場で行われたジャックルマロワ賞(G1)でも同馬に勝利しているが、その時の着差は 1 1/4 馬身であった。

ワイズダン【127】はサンタアニタ競馬場で行われたブリーダーズカップマイル(G1)で**アニマルキングダム【123】**に 1 1/2 馬身差をつけ勝利し、今年の北米での最高レーティングを獲得するパフォーマンスを見せた。これにより、同馬は 9 月にウッドバイン競馬場で行われたウッドバインマイル(G1)、10 月にキーンランド競馬場で行われたシャドウェルターフマイル(G1)に続き、G1 3 連勝を達成した。

リトルマイク【123】は**ポイントオブエントリー【123】**を退けブリーダーズカップターフ(G1)を制した。この結果、芝のブリーダーズカップ主要競走は地元勢が独占した。**ワイズダン**同様、**リトルマイク**は 5 月にチャーチルダウンズ競馬場で行われたターフクラシック(G1)、8 月にアーリントンパーク競馬場で行われたアーリントンミリオン(G1)に続き、今年 3 つ目の G1 制覇となった。

上位 2 頭が後続を 6 1/2 馬身引き離したブリーダーズカップクラシック(G1)では、叩き合いの末、**フォートラーンド【125】**が**ムーチョマッチョマン【124】**をわずかに退け制した。

オーストラリアでは、**ドゥーナデン【122】**がコーフィールドカップ(G1)を制し、生涯最高となるレーティングを獲得した。また、ニュージーランド調教馬**オーシャンパーク【122】**は、コックスプレート(G1)で進境著しい 3 歳馬**オールトゥハード**をクビ差降し、G1 4 連勝を達成した。

東京競馬場で行われた天皇賞（秋）(G1)では、**エイシンフラッシュ【121】**が**フェノーメノ【120】**を 1/2 馬身退け、2010 年の東京優駿(G1)以来の勝利を飾った。**フェノーメノ**は今年の東京優駿においても僅差 2 着に敗れている。

香港では年度代表馬**アンビシャスドラゴン【124】**がシャティン競馬場で行われたシャティントロフィー(香港 G2)でトップハンデを背負いながら 1 1/2 馬身差をつけ快勝、シーズン緒戦を飾った。